

環境活動レポート



株式会社 グローバー

対象期間：2017年4月～2018年3月

発行日：2018年9月1日

1. 会社概要

(1) 対象組織

- ① 事業所名
株式会社グローバー
- ② 代表者
代表取締役 平田 勝治
- ③ 環境管理責任者（問い合わせ先）
上谷 尚 TEL : 03-3527-1020 FAX : 03-3527-1021
e-mail: s_kamiya@globalbar.co.jp
- ④ 環境管理事務局
中島 瑛美 TEL : 03-3527-1020 FAX : 03-3527-1021
e-mail : e_nakajima@globalbar.co.jp
- ⑤ 所在地
本社 東京都千代田区神田東松下町 13 番地
三郷事業所 埼玉県三郷市鷹野 2 丁目 408 番地 1
※2015 年 2 月 27 日より本社を東京都千代田区に移転した。

(2) 主な事業内容

グリストラップ清掃事業、各種清掃事業およびそれらの関連サービス事業 並びに産業廃棄物収集運搬業

(3) 事業規模

- ① 創業 2005 年 廃棄物収集運搬は 2005 年より開始
- ② 売上高 10 億 0000 万 (2017 年 4 月～2018 年 3 月)
- ③ 資本金 1000 万円
- ④ 従業員数 55 人 (2018 年 9 月現在) 【本社 : 26 名 三郷 : 29 名】
- ⑤ 述べ床面積 359.38 m² (本社)
142.02 m²(三郷事業所)
- ⑥ 収集運搬の実績等
 - ・収集運搬の実績 1640 t (2017 年 4 月～2018 年 3 月)
 - ・収集運搬料金 種類、数量、排出場所や状況により異なります。
また、見積りは無料で御見積り致します。

2. 対象範囲

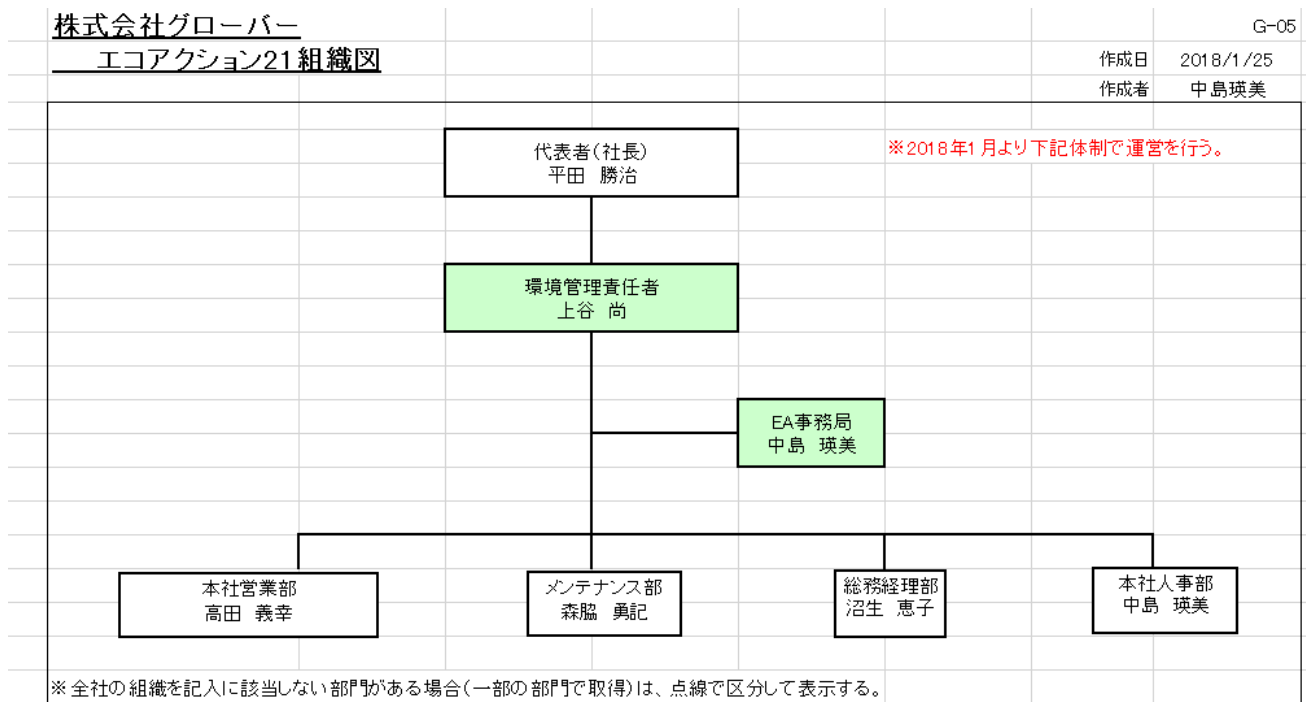
- ①登録組織名 : 株式会社グローバー
- ②対象事業所 : 三郷事業所 : 埼玉県三郷市鷹野 2-408-1

本社：東京都千代田区神田東松下町 13 番地 神田プラザビル 2 階

③レポートの対象期間・発行日等

- ・環境活動レポートの対象期間：平成 29（2017）年 4 月 1 日～平成 30 年(2018)年 3 月 31 日
- ・環境活動レポートの発行日：2018 年 9 月 01 日

3. エコアクション 21 組織図



4. 許可証、登録証一覧等

(1) 産業廃棄物処理業の許可

許可種類	許可者	許可番号	許可年月日	有効期限	産業廃棄物の種類
産業 廃棄物 収集 運搬	東京都	第 13-00-116904 号	H27.3/22	H32.3/21	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん
	神奈川	01403116904	H27.4/8	H32.3/15	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	埼玉	01101116904	H27.3/28	H32.3/27	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	千葉	01200116904	H27.4/7	H32.3/30	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	栃木	00900116904	H27.4/7	H32.4/6	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	群馬	01000116904	H27.5/11	H32.5/10	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	茨城	00801116904	H27.6/18	H32.5/31	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ

(2) 廃棄物収集運搬車両

(1) 車両・形制・容量等

種別・用途 (名称)	形 状	登 録 番 号	積 載 量 (容 器 の 容 量 ・ 数 量)	新規	廃止	継続	産廃	特管
				(該当欄に○を付す)				
1	特種	清掃車	春日部 800 す 6263	2750			○	○
2	貨物	バン	春日部 400 ち 9397	1750			○	○
3	貨物	バン	春日部 480 か 3648	350			○	○
4	貨物	バン	春日部 400 て 2618	350			○	○
5	特種	清掃車	春日部 800 す 5811	2500			○	○
6	特種	清掃車	春日部 800 す 5628	3500			○	○
7	特種	清掃車	春日部 800 す 6073	3400			○	○
8	貨物	バン	春日部 100 せ 1864	1500			○	○
9	特種	清掃車	春日部 800 す 6503	3700			○	○
10	貨物	バン	春日部 400 つ 3760	1500			○	○
11	貨物	バン	春日部 400 つ 7761	1500			○	○
12	貨物	バン	春日部 480 き 3831	350			○	○
13	貨物	バン	春日部 480 き 4673	350			○	○
14	貨物	バン	春日部 400 て 1689	1150			○	○
15	貨物	バン	春日部 400 て 4896	1500	○			○

5. 環境方針

環境方針

わが社は、社業を通してお取引先の三R活動に寄与してまいりました。これからもエコアクション21参画によりさらなる社員のレベルアップをはかり、循環型社会の形成に努めてまいります。

- 一、 環境に関連する法規則・条例等と遵守し、環境配慮に努めます。
- 二、 環境負荷の低減になる車両の購入および資材、事務用品等のグリーン購入を推進することにより、環境に配慮した調達を進めます。
- 三、 エコドライブに努め、省エネルギーを推進します。
- 四、 廃棄物の削減・再利用活動に取り組めます。
- 五、 環境にやさしい商品およびサービスを販売します。
- 六、 環境方針を全社員に周知徹底し、全員で環境への取り組みを行います。

制定 平成二十三年十一月一日

改定 平成二十九年三月二十二日

株式会社グローバー代表取締役 平田勝浩

6. 環境目標

◎環境目標：中長期目標（2017年～2021年）

No	環境目標	取組項目（単位）	2017年度 （基準年）	2018年度 削減 1%	2019年度 削減 2%	2020年度 削減 3%	2021年度 削減 4%
1	二酸化炭素排出量の削減	①二酸化炭素排出量の合計 (kg-CO ₂)	146255.59	144793.03	143330.47	141867.92	140405.36
		・二酸化炭素排出量(本社)	15275.21	15092.75	14969.70	14816.95	14664.20
		・二酸化炭素排出量(三郷)	130980.38	129670.57	128360.77	127050.96	125741.16
		②電気使用量の合計 (kwh)	54894	54345.06	53796.12	53247.18	52698.24
		・電気使用量 (kwh) (本社)	30550	30244.5	29939	29633.5	29328
		・電気使用量 (kwh) (三郷)	21719	21501.81	21284.62	21067.43	20850.24
		③ガス使用量(kg)(三郷)	20.79	20.58	20.37	20.16	19.95
		④ガソリン使用量 (L) (三郷)	12882	12753.18	12624.36	12495.54	12366.72
		⑤軽油使用量 (L) (三郷)	34352	34008.48	33664.96	33321.44	32977.92
2	廃棄物排出量の削減	事業系一般廃棄物量の合計 (kg)	15565	15409.35	15253.7	15098.05	14942.4
		・事業系一般廃棄物量 (kg) (本社)	6036	5975.64	5915.28	5854.92	5794.56
		・事業系一般廃棄物量 (kg) (三郷)	9529	9433.71	9338.42	9243.13	9147.84
3	総水使用量の削減	水道使用量の合計 (m ³)	296.3	293.33	290.37	287.41	284.44
		・水道使用量 (m ³) (本社)	130	128.7	127.4	126.1	124.8
		・水道使用量 (m ³) (三郷)	166.3	164.63	162.97	161.31	159.64
4	グリーン購入		グリーンマーク、エコマーク表示製品の購入推進				
5	環境サービス	汚泥の活用		汚泥を活用した土で、ひまわりを育て、会社の玄関口に設置する等緑化に努める。			
		汚泥の再利用の検討		汚泥の燃料化に関しては、公共機関ではなく、他社（TBM）と提携して汚泥の燃料化を継続し検討する。			
		環境情報の発信		ホームページでの環境情報の発信			

7. 環境目標の実績 (2017年4月～2018年3月の目標と実績の比較)

No	環境目標	取組項目 (単位)	目標(2016年4月～2017年3月)	実績(2017年4月～2018年3月)	目標達成状況	増加9%以内
1	二酸化炭素排出量の削減	① 二酸化炭素排出量の合計 (kg-O ₂)	146255.59	149261.92	×	[○]
		・二酸化炭素排出量(本社)	15275.21	15724.95	×	[○]
		・二酸化炭素排出量(三郷)	130980.38	133832.42	×	[○]
		②電気使用量の合計 (kwh)	54894	56738	×	[○]
		・電気使用量 (kwh) (本社)	30550	33175	×	[○]
		・電気使用量 (kwh) (三郷)	21719	26188	×	-
		③ガス使用量(kg)(三郷)	20.79	20.4	○	-
		④ガソリン使用量 (L) (三郷)	12882	13003	×	[○]
2	廃棄物排出量の削減	事業系一般廃棄物量の合計 (kg)	15565	16052	×	[○]
		・事業系一般廃棄物量 (kg) (本社)	6036	4395	○	-
		・事業系一般廃棄物量 (kg) (三郷)	9529	11657	×	-
3	水道使用量の削減	水道使用量の合計 (m ³)	296.3	280	○	-
		・水道使用量 (m ³) (本社)	130	115	○	-
		・水道使用量 (m ³) (三郷)	166.3	165	○	-
4	グリーン購入	グリーンマーク、エコマーク表示製品の購入推進			○	-
5	環境サービス	汚泥の燃料化の検討	回収した汚泥油を協力業者の㈱TBMに委託し燃料化を継続。(600kg/月)		○	-

注：目標達成状況【○目標達成 ×目標未達成 △評価できず】

○CO₂ 排出係数は、2016年度東京電力㈱の実排出係数 0.474kg-CO₂/kWh を使用した。

※2018年度 作業案件数が昨年比 10%(1329件)増加に伴い、会社全体で負荷が増えている。
上記を勘案し、[○]については-1%を達成していないが、+9%以内に抑える活動がなされているものとする。

8. 活動計画・取組結果と評価、今後の取組内容

環境活動計画	取組結果と評価	今後の取組内容
<p>二酸化炭素排出量削減</p> <p>2016年4月から2017年3月の基準値に対して2017年4月から2018年3月までは1%削減が目標。</p> <p>【目標達成手段】(電力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調温度管理徹底 ・未使用機器の電源オフの徹底 ・冷暖房の使用台数の規制 <p>【目標達成手段】(燃料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・効率の良いルート作成 ・アイドリングストップ徹底 	<p>【全体】</p> <p>会社全体の二酸化炭素排出量は目標値に対し2%増となった。</p> <p>【電力】</p> <p>案件が増える(昨年比10%)に伴い、会社全体の稼働、スマートフォンやPC、複合機の使用が増えたことで年間の電力使用量は会社全体で目標値に対し3.3%増となった。</p> <p>それ以外の部分では空調温度管理が出来ていないことがあった。</p> <p>【燃料】</p> <p>ガソリン使用は0.9%、軽油は1.1%と共に増加となった。</p>	<p>(本社・三郷)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室温点検チェック表の記入・実践を周知・励行する。 ・窓ガラスには断熱フィルムシートを使用(三郷) ・効率の良い作業ルートを再構築していく。 ・空調温度を徹底
<p>廃棄物排出量削減</p> <p>2016年4月から2017年3月の基準値に対して2017年4月から2018年3月までは1%削減が目標。</p> <p>【目標達成手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底 ・ファイルの電子化、印刷物の削減 ・社内文書の裏紙使用の徹底 	<p>会社全体の廃棄物排出量は目標値に対し3.1%増となった。</p> <p>本社では27%の削減となったが、年度途中からビル管理による廃棄物の回収に変わり正確な数値が測定出来なくなったことも影響していると考えられる。作業現場増の影響で作業消耗品が増え、三郷では22%増となった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成手段は継続 ・作業消耗品の見直しを実施する。 ・本社の廃棄物については数値が取れなくなったため、次年度からはコピー用紙使用量の削減を行う。
<p>総排水量の削減</p> <p>2016年4月から2017年3月の基準値に対して2017年4月から2018年3月までは1%削減が目標。</p> <p>【目標達成手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗車用の水道に節水コマの取付 ・テプラによる節水意識の周知徹底 	<p>会社全体の総排水量は目標値に対し5.5%減となった。</p> <p>本社11%、三郷0.7%削減している。</p>	<p>(本社・三郷)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施する。
<p>グリーンマーク、エコマーク表示製品の購入推進</p>	<p>積極的にグリーンマーク、エコマーク表示商品を購入した。</p>	<p>継続して実施する。</p>
<p>(環境サービス)</p> <p>汚泥のリサイクル化</p> <p>汚泥の再利用の検討</p> <p>ホームページでの環境情報の発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥の燃料化に関しては、公共機関ではなく、他社(TBM)と提携して汚泥の燃料の精製をした(三郷) ・ホームページでの環境情報の発信(本社) 	<p>継続し実施する。</p>

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

【適用される法令等】〔三郷事業所〕

法律・条例名	規制内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の収集運搬	許可取得、適正処理
三郷市廃棄物の処理及び再利用並びにし現物持ち去り防止に関する条例	事業系一般廃棄物の処理	適正処理
浄化槽法	浄化槽の定期点検	定期点検の実施
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	第1種特定製品の管理 フロン漏洩時の報告	業務用エアコンの簡易点検の実施

【遵守状況等】

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘または環境に関する苦情は、過去3年以上ありません。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

三郷オフィスは日中勤務の事務職と夜間勤務のメンテ職がおり、事務所の使用時間が長い。

特に空調の使用も長くなりがちなので、温度管理が最も必要と考えて、社員へのルールの徹底をしていかなければならない。

神田オフィスで進めてきたIT化によるコピー用紙の使用と廃棄の削減を三郷オフィスにも広め、かつ全体で意識の徹底を高めていかなければならない。

今後も事業の拡大とともに採用活動は継続していく予定である。

新人への環境経営の指導・意識づけは今後も行い、社員全員で目標達成を目指していく。